



小学生を対象とした景観教室を開催しました



本県の持つ美しく豊かな自然環境などで形作られる「おおいたらしい景観」の価値に対する「気づき」を促し、身近な景観に対する意識を高めてもらうことを目的に、今年度から小学校高学年を対象とした景観教室を行っています。

授業は、県が令和5年度に作成した景観副読本を活用するとともに、児童たちが見慣れている校区内の景観の写真等を用いて行いました。

講師には大分県景観アドバイザーの穂山氏（合同会社 まちづくり事務所 まちもり）、山下氏（NPO法人 おおいたNPOデザインセンター）をお招きし、児童たちが楽しめる授業をしていただきました。



※景観副読本（R5年度作成）

○令和6年度 実施小学校

- ・杵築市立東小学校 5年生 15人
- ・中津市立大幡小学校 5年生 108人
- ・宇佐市立院内中部小学校 5,6年生 15人
- ・宇佐市立南院内小学校 5,6年生 4人
- ・国東市立安岐中央小学校 6年生 29人

～景観教室の様子～



景観の成り立ちについて勉強しました！



地域にまつわる景観クイズを行いました！



地図ワークで校区内にある景観を知りました！



校庭から見える景観の写真を撮りました！



通学路から見える景観の写真を撮りました！



景観教室の詳しい様子はこちらからご覧ください！

大分県広域景観シンポジウムを開催しました

大分県では、令和7年2月1日（土）に大分県広域景観シンポジウムを開催しました。

やまなみハイウェイエリアは、やまなみハイウェイを通過する過程で、高原、美しい山肌、抜けるような空が次々と現れてくるシークエンス景観を有しているのが特徴です。

コーディネーターとして、大分大学理工学部理工学科建築学プログラムの姫野准教授をお招きし、やまなみハイウェイエリアでそれぞれの団体が行っている活動が、どのように「景観」と結びついているのかを紐解いていただき、広域景観の保全・形成の重要性を考える機会となりました。

「やまなみハイウェイでつながる魅力ある景観づくり」



●会場：湯布院公民館 3階 小ホール
(由布市湯布院町川上3738-1)

●プログラム

13:30～ あいさつ

13:35～ 大分県広域景観保全・形成指針について

13:40～ 活動事例発表

14:50～ パネルディスカッション

16:00～ 閉会



高橋 裕二郎 氏(九重の自然を守る会 理事長)



川野 智美 氏(一般財団法人セブン-イレブン記念財団 九重ふるさと自然学校 代表)



木ノ下 結理 氏(道守大分会議 事務局長)



姫野 由香 氏(大分大学理工学部理工学科建築学プログラム 准教授)



まず、パネリストの方々に活動事例発表を行っていただいた後、姫野准教授にコーディネーターを務めていただき、パネルディスカッションを行いました。質問シートを参加者の方々に配付し、各パネリストへの質問を回答していく形式で、やまなみハイウェイエリアにおける取り組みについて学ぶことができました！

